ショパンの儚くも短い生涯を演奏と朗読で巡る決定版コンサート!

及川浩治ピアノ・リサイタル

ール・ショパン・プログラム

ノクターン第20番 嬰ハ短調「遺作」

ラルゲット(ピアノ協奏曲第2番 op.21 より第2楽章)

マズルカ ホ長調 op.6-3

ノクターン第2番 変ホ長調 op.9-2

エチュード ハ短調 「革命」 op.10-12

エチュード ホ長調 「別れの曲」 op.10-3

ワルツ 変ホ長調 「華麗なる大円舞曲」 op.18

幻想即興曲 嬰ハ短調 op.66

バラード第1番 ト短調 op.23

エチュード 変イ長調 「エオリアン・ハープ」 op.25-1

プレリュード 変ニ長調 「雨だれ」 op.28-15

ワルツ 変ニ長調「小犬」op.64-1

ポロネーズ第6番 変イ長調 「英雄」op.53

舟歌 嬰ヘ長調 op.60

マズルカ ヘ短調 op.68-4

葬送行進曲(ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 op.35 より第3楽章)

子守歌 変二長調op.57

料金

※演奏曲は変更になる場合があります。

2 15:00開演 [14:30開場]

奈良県橿原文化会館 大ホール

般 2.000円 かしぶん倶楽部 1.500円 中高生 1,000円 小学生 500円 障がい者・介助者 1,000円

チケット発売日 11月1日(金)

※介助者チケットは障がい者1人につき1名まで ※当日、障がい者手帳や生年月日がわかるものを確認させていただく場合があります。 ※未就学児は入場できません。

- ◆奈良県橿原文化会館 9:00~17:00(初日電話受付13:00~) TEL 0744-23-2771
- ◆ローソンチケット(Lコード: 53101)

主催 奈良県橿原文化会館(木曜休館)(近鉄大和八木駅から徒歩約3分)

Piano

及川浩治

Koji Oikawa

ピアノ・リサイタル 「ショパンの旅」



1999年、ショパン没後150年の年に及川浩治自身が企画したピアノ・リサイタル「ショパンの旅」は、各地で大評判を呼び全国で3万5千人以上の動員を記録する、クラシックとしては破格の大規模ツアーとなりました。

追加公演、再追加公演、2005年、2010年、2014年と、そのたびに内容を変えながら、及川浩治がライフワークのようにして続けてきた「ショパンの旅」シリーズ。

今回はあえて原点のオリジナル・プログラムを、朗読内容も含めて再現するコンサートです。

名曲の数々をお聴きいただきながらショパンの儚い生涯を辿るこの「旅(コンサート)」は、いまやベテランの域に達した 及川浩治が自分自身の原点を再び見つめなおす「旅」でもあります。

美しくも深遠なショパンの世界を、及川浩治渾身の演奏でご堪能ください。

1999年は私にとって転機となる特別な年になりました。 ショパン没後150年の年で、2月から始まった「ショパンの旅」ツアーは 信じられないほど沢山のお客様に聴いていただけたのです。

「ショパンの旅」というタイトルを考え、自分で台本を書き、 音楽と朗読でショパンの人生を辿る「旅!―というコンセプトで作り上げたコンサートです。

これほど時間を費やして企画を考えたのは初めてでした。

今回は、その時の演奏曲目と台本を復刻するコンサートです。

ショパンの音楽は素敵ですが、多くの曲は精神的な深みや悲しみに満ちています。ショパンの、初期から晩年までの多彩な作品からその一面を感じ、楽しんでいただけることを願っています。

———及川浩治



及川浩治 (ピアニスト)

1984年ヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位受賞。1990年ショパン国際ピアノ・コンクール最優秀演奏賞(Honourable mention)、マルサラ国際音楽コンクール第1位受賞。ショパン没後150周年の1999年「ショパンの旅」と題したコンサート・ツアーを行ない全国で3万5千人を動員。2008年~2011年には「10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストであり、ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は、幅広い層の共感を得ている。近年は海外オーケストラとの共演も多数。CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニノフなどの作品集をリリースし、いずれも高い評価を受けており、『ベートーヴェン:悲愴、熱情、ワルトシュタイン』と『ショパン:バラード』は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。

現在、国立音楽大学特任教授、宮城学院女子大学音楽科特任教授。

オフィシャルサイト https://koji-oikawa.com

